



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第 319 号

発行: 〒399-8695

北安曇郡池田町池田 3207-1

TEL(0261)62-3166 (代)

JA長野厚生連安曇総合病院

発行責任者: 院長 畑 幸彦

編集: きずな編集作業部会

<http://www.azumi-ghp.jp/>

印刷: PO 印刷(株)

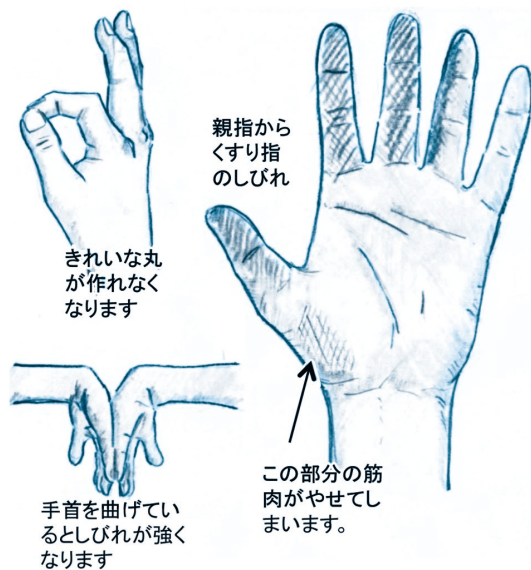
手外科専門医が赴任しました

整形外科副部長兼副手術部長 中村 恒一

7月より安曇病院整形外科で勤務しております中村恒一です。平成16年の7月から1年間当院整形外科でお世話になってきた時期があります。その後7年間信州大学上肢

班で主に手肘疾患を学び、昨年1年間は東京の病院で手疾患、顕微鏡手術の国内留学をしてきました。再び、当院で働くことができてもうれしく思っています。地域に

〈手根管症候群の症状〉



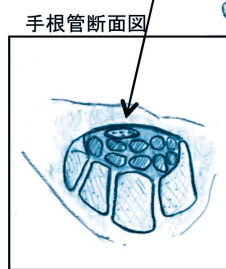
密着した患者様本位の質の高い医療を提供していければと思っております。些細なことでもお困りのことがありましたらいつでもご相談ください。よろしく願います。

私は手、肘領域が専門になります。日常生活を行う上で、手の機能はとも重要です。細かな動作を行うとても繊細な体の器官であります。したがって、ちょっとした障害でも普段の生活に大きな支障をきたすことが多いです。また、手肘だけでもさまざまな病気が存在し、適切な治療を行えば良好に改善することもあります。今回より数回に分けて、手外科、肘外科の疾患についてご紹介していきます。

今回は手根管症候群について紹介します。親指からくすり指の半分のしびれが特徴的な症状となります。女性に多いですが、男性でも認められます。朝方のしびれ、痛みが生じます。

手首部分で手根管という骨と靱帯に囲まれた空間に指を曲がる腱と正中神経という神経が走っています。さまざまな理由でこの管の内圧が上昇すると、神経が圧迫されてしびれ、痛み・筋力低下が生じます。病気が進行すると親指の付け根の筋肉がやせてきて、親指とひとさし指で丸を作ろうとしてもきれいな丸が作れなくなります。

この部分で正中神経が圧迫されます。

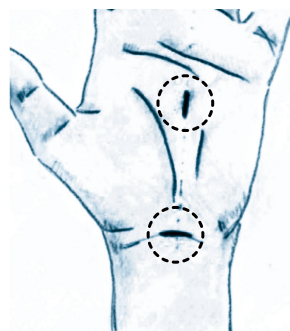


〈手根管症候群の原因〉

治療方法について説明します。大きく手術による治療と手術ではない治療（保存治療）に分かれます。保存治療では手根管の中に注射を行い、腱の腫れを取って、手根管内の圧を下げる方法です。手術は図のように小さな皮膚切開による内視鏡を用いた手術を行っています。手根管の天井を覆っている靱帯を切離して手根管を開放する方法です。局所麻酔で行い、入院の必要はありません。

このような症状がありましたらお気軽に整形外科に受診してください。

内視鏡を用いた日帰り手術です。
靱帯を切離して、手根管を開放します。



〈手根管症候群の治療〉